



キノオオフクロタケ

昨年九月に「母子の森」でキノオオフクロタケという絹状

の光沢がある綺麗な大型のきのこが発生しました。大きなエノキの

秋

「京都御苑の自然」
(季節の詩・うたを通して)

小寺 祐三



かさの表面

倒木（六年ほど前から置かれていた）に初めて発生した珍しいきのこでした。その倒木には毎年夏から秋にかけてアラゲキクラゲ、ヒラタケが発生、コフキサルノコシカケは一年中発生を繰り返していましたが、その材はきのこの作用により分解が進み、朽ち果てる寸前でした。その材から最後の養分を吸収するかのように、大型のキノオオフクロタケが発生

生したのです。あまりにも綺麗なきのこで、見とれてしまいました。かさの表面はその名の通り、キノの感触そのもので、自然が作り出した芸術作品といえます。いつの日か再び出たいきのこのたび出会いたいのですが、そのキノオオフクロタケの発生を最後に、きのこの材は完全に分解され、腐生菌としてあらゆるきのこの生活が終わり、また、つまり一本の巨大な倒木が土に還ったのです。九月後半になると苑内南の落葉が集められたところにエリマキツチグリが多数発生します。その様子はこれからやってくる

冬に備え、マフラーを纏っているようにみえます。マツの切り株からマツオウジが夏から継続して発生を続けています。十月にはシイの巨木にヒラフスベが塊状となって発生し、毒きのこで大型菌の「オオシロカラカサタケ」もまだ発生しています。苑内にはマツが多いので、何処を歩いてもマツカサが沢山落ちています。このマツカサを分解するきのこは京都御苑ではマツカサタケ、ニセマツカサシメジ、マツカサキノコモドキの担子菌類三種が毎年定番ですが、初めてマツカサに子囊菌類が発生し、大

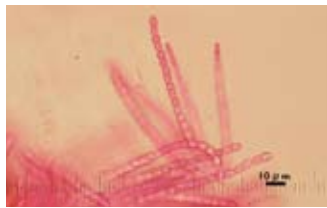


Podstroma.sp



ニクコウヤクタケ

変驚きました。和名のPodstromaの仲間というボタンタケ科に属する大変珍しいきのこです。上の写真で黒いきのこは完熟していますが、右の黄色い個体は未成熟です。細長い子囊の中には八個の子囊胞子が作られ、成熟すると胞子の隔壁が



Podstroma.sp 子囊と子囊胞子



ニクコウヤクタケの胞子



ニクコウヤクタケの糸状体

が、胞子や菌糸構造を顕微鏡で観察すると、面白いミクロの世界を観察することができま

きのこは自分の子孫を増やすために胞子をたくさん作って自然界に飛ばしています。花の卵塊を産みつけます。地面に穴を掘って泡状の卵塊を産みつけます。橋の下やキノコウブの根元に近い葉に白い卵半円形の面白い形をし、塊を産みつけます。ア糸状体という菌糸の組織はまるで有刺鉄線のような形で構成され、肉眼では観ることが出来ない不思議な世界が接眼レンズの中で観察できます。



オオアイトトンボ

秋も深まり、十一月の紅葉が見ごろを迎えると、苑内ではエノキタケやヒラタケなど、きのこの発生してきます。目線から上には暗れ渡った空をパツクに見事な色彩の紅葉足下には秋のきのこが目に見え込んできて、慌しく御苑の秋は駆け抜けてゆきます。

京都御苑内では全ての生物の採集は禁止ですので御協力をお願いします。
(京都自然観察学習会)



シュレーゲルアオガエル

アカネなどのアカトンボとオオアイトトンボです。
リスアカネには翅の先端に黒褐色の斑紋が見られるのが特徴ですが、マユタテアカネのメスにも翅の先端に斑紋がある場合もあるので要注意です。マユタテアカネの額を前から見ると、眉を立てたように見えます。オオアイトトンボは、翅を広げて止まりますが、アオイトトンボは翅を半開きにして止まります。胸の緑色が鮮やかで、スマートなイトトンボです。オオアイトトンボのメスは、池の上につき出た低木の枝に産卵管を突き立てて産卵するという面白い習性があります。
十月のトンボ池公開の日には、どのようなカエルや蝶、トンボが迎えてくれるでしょうか。珍しい生き物たちとの出会いを楽しみにお越しください。
(京都自然観察学習会)



発行人
〒602-0881 京都市上京区
京都御苑3番地
☎075-211-6364
財団法人 国民公園協会
京 都 御 苑 木村博司
編集
白川書院
監修
環境省京都御苑管理事務所
本紙は再生紙を使用しています。

秋のトンボ池
西台 律子

催 事 案 内

■平成22年京都御苑自然教室

一般の方を対象とした自然教室の今後の予定は、下記のとおりです。都市の中で貴重な緑をもつ御苑で、秋の自然を観察しましょう。

秋の自然教室 “秋の御苑にふれよう”

11月28日（日）9：30～12：00

主 催 環境省京都御苑管理事務所 TEL.075(211)6348
(財)国民公園協会 京都御苑 TEL.075(211)6364
講 師 京都自然観察学習会の先生方に指導して頂きます。
内 容 秋の御苑にはどんな草花やキノコがあり、どんな虫や鳥たちが生活しているか観察します。

集合場所 京都御苑 石薬師御門前
(上京区京都御苑内北東門)

受付時間 当日 9：00～9：20

参加費 無料

その他

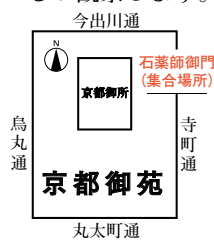
筆記用具をご持参下さい。
手持ちのルーペ、双眼鏡、
図鑑などの観察用具があると便利です。

*以降自然教室予定

冬自然教室“冬の御苑にふれよう”

平成23年1月23日（日）9：30～12：00

詳細は次号でお知らせします。



御 苑 の 花 暦

和 名	開 花 期	主に見られる場所
ミヤギノハギ	7月～9月	児童公園、 凝華洞跡東側付近
ヒガンバナ	9月中旬	御苑内の各草地
サザンカ	11月～2月	児童公園付近

秋のトンボ池一般公開

10月15日(金)・16日(土) 9:00～11:30

近畿大台展・京都御苑自然展

10月9日(土)～31日(日)開催予定

於:閑院宮邸跡レクチャーホール

京都御所秋季一般公開

11月17日(水)～11月21日(日)

入場時間 9：00～15：30

入口：宜秋門(ぎしゅうもん)

出口：清所門(せいしょもん)

清所門の最終退出時間は午後4時15分

照会先：宮内庁京都事務所 TEL：075(211)1211

会 員 募 集

1. 会員の種類 (会費の会計年度は1月から12月まで)

①賛助会員(法人) 年会費 10,000円以上

②普通会員(個人) 年会費 1,000円以上

2. 会員への特典

①葵祭、時代祭の招待券を進呈します。

(ただし、普通会員は会費4,000円以上の方に限ります。)

②本会発行物をそのつど送付します。

3. 申し込み、問い合わせ先

(財)国民公園協会 京都御苑

住所 京都市上京区京都御苑3

〒602-0881 TEL.075(211)6364



紅葉の源氏の庭

盧山寺は天台圓浄宗の大本山で、盧山天台講寺ともいう。天慶年間(九三八)比叡山第十八世座主元三大師(慈恵大師)良源が京都の北、船岡山の南麓に開いたのに始まる。歴朝の帰依厚く、勅願寺として、円密、戒、淨の四宗兼学道場として洛中の比叡と称せられる。その後、応仁の兵火に遭い、また元龜二年の信長の比叡山焼き打ちにも遭遇するが、正親町天皇の勅命を受け、天正元年(一五七三)現在地・紫式部邸宅址に移転する。



盧山寺の桔梗

邸宅であった。それは鴨川の西側の堤防の西に接して営まれていたため「堤邸」と呼ばれ、それに因んで兼輔は、「堤中納言」の名で知られていた。紫式部は百年ほど前に兼輔が建てた「旧い家」で一生の大部分を過ごしたといわれ、この邸宅で藤原宣孝との結婚生活を送り、一人娘(かたこ・大式三位)を育て、源氏物語を執筆したのである。

現在の本堂は、宝永五年(一七〇八)、天明八年(一七八八)相次いで焼失後、寛政六年(一七九四)七月、閑院宮典仁親王の葬儀が行われるにあたり、光格天皇が仙洞御所の建物の一部を移築し、朝廷、仙洞、中宮、女院および閑院宮家の御下賜でもって造営されたのが現在の御内仏殿(本堂)である。



光格天皇・新清和院皇后の厨子

祐宮(兼仁親王)は安永八年(一七七九)に践祚され光格天皇となられる。明治維新までは御黒戸四箇院といつて、宮中の仏事を司る寺院が四ヶ寺(盧山寺二尊院、般舟三昧院、遺迎院)あり、その中の一つであった。殊に盧山寺は閑院宮家の菩提寺というところで、光格天皇、閑院宮家の遺品も数多く下賜され、その中でも仁孝天皇が宮中の黒戸(仏間)で祭られていた仁孝天皇直筆の光格天皇、新清和院皇后の尊牌並びに厨子の荘厳さは比類なきものである。

最後に京都の冬の代表的行事である節分会は追儺式鬼法楽、通称「鬼おどり」といわれ三匹の鬼(三種の煩悩・三毒(貪欲、瞋恚、愚痴)を節分の日に追い払う法会行事が毎年二月三日に執り行われる。

(盧山寺管長) 最後には京都の冬の代表的行事である節分会は追儺式鬼法楽、通称「鬼おどり」といわれ三匹の鬼(三種の煩悩・三毒(貪欲、瞋恚、愚痴)を節分の日に追い払う法会行事が毎年二月三日に執り行われる。

京都御苑の前身である江戸時代の公家町は、諸国からやってきた旅人の観光スポットでもありました。また、年中行事の時には庶民が御所に参内できるなど、多くの人が往来するにぎわいのある空間でした。国民公園となった今でも、京都の歴史を感じる観光の場、都市の中に残された自然との考えが求められています。

京都御苑におけるユニバーサルデザイン

高橋 博幸

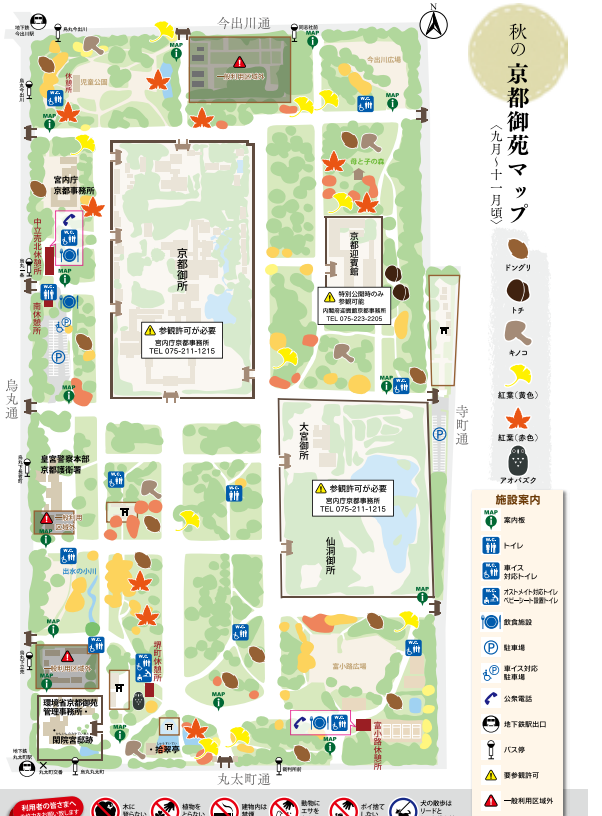
触れ合う場、日常生活の中の憩いの場として利用されています。長い歴史の中で空間のあり方や形態は変化してきている場所であることに変わりはありません。近年、新たな利用者ニーズや社会情勢の変化に対応し、誰もが安心して快適に利用できるユニバーサルデザインの実現が求められています。

具体的には、平成二十一年度このエリア内において、砂利の景観や風合いに配慮した舗装の敷設、季節の花が楽しめる場所へのスロープの設置、車いすやベビーカーも利用できる野外卓の設置、多目的トイレへのオストメイト設備の導入を目的に整備するエリアを設定し、景観を損なうことがないような整備方法を採用して試



車いす使用者も一緒に座れる野外卓

(京都御苑管理事務所 普及指導企画官) 今後利用者からの意見や要望を聞きつつ、整備した施設が十分に機能しているかを検証しながら、様々な人たちが京都御苑をより楽しむようになることを目指していきます。



→各休憩所まで入ることができる散策マップ